

東京ブランチ 新運営委員



後列左から井口、松木、疋田、寺久保、尾崎
 前列左から清水、有田、細海

6月2日のブランチ年次総会において8名の運営委員が承認され、運営委員の互選の結果つぎのように3役および担当を決定いたしました。これから2年間、どうぞよろしく願いいたします。

チェアマン	有田 典和	岐阜市	058-262-1656
セクレタリ	尾崎 淳子	流山市	04-7152-5582
トレジャラ	清水 豊	名取市	022-383-0428
メンバーシップ・セクレタリ	細海 修	東京都	03-3909-2908
ビギナーズ・クラス	寺久保 ヒロ子	東京都	03-3801-6139
インターミディエイト・クラス	疋田 千鶴子	船橋市	047-467-1922
ゼネラル・クラス	井口 弓子	草加市	048-924-9447
ブランチ・ショップ	松木 道子	東久留米市	042-475-9054 ■

新チェアマン就任挨拶

RSCDS 東京ブランチのチェアマンに就任いたしました有田典和です。地方からのチェアマンを含む委員の選出は、1984年の設立以来初の試みとなります。この役をお引き受けすることに重い責任を感じております。設立当時の RSCDS 東京ブランチ会報 No.1(1984年9月発行)を読み返してみますと、設立総会の項に、「去る6月24日に飯田橋のセントラルプラザにおいて、東京ブランチの設立総会が行われ、賛同者90名のうち24名が出席し無事に設立の運びとなった。この結果は、会員名簿を添えてエディンバラの本部に通知され受理された。」とあります。苦労の末、日本で最初のブランチが設立され多くの実績を重ねてきました。設立当時の東京ブランチ会員数は93名、アフリエイトグループ数は6と紹介されています。因みに、現在(2011年)の国内アフリエイトグループ数は16です。

1984年10月発行のRSCDS Bulletin No.62には、「東京ブランチ(6月24日)、パリ・ブランチ(3月3日)、フロリダ・ブランチ(5月19日)が加盟」と紹介されています。この年のRSCDSのブランチ数は145、アフリエイトグループ数は457、会員数は26,156名でした。参考までに、昨年(2011年6月)の、RSCDのブランチ数は169、アフリエイトグループ数は345。会員数は13,221名です。この27年間を単純に数の差を比較しますと、ブランチ数は微増、アフリエイトグループ数は3割減、会員数は半減しています。単純に数だけでは判断できませんが、会員の高齢化による影響もあるのでしょうか。RSCDSは会員増の一環として若年層へのPR運動を盛んに進めています。文部科学省が「中学校武道・ダンスの必修化」を、平成20年3月に中学校学習指導要領の改訂、中学校保健体育において、武道・ダンスを含めたすべての領域を必修とすることになりました。ダンスで自己を表現し、仲間とコミュニケーションを交わしながら、楽しさや喜びを味わうことのできるSCDは最適の教材と信じます。彼らと接点を持つことは、将来の仲間を増やすひとつの手立てだと思います。実際、ニュージーランドのサマースクールでは子供のクラスがあり、参加費等の金銭面で優遇されています。毎年参加する子供もおり、夜のソーシャルは大人と共に楽しんでいます。RSCDS活動の一端を東京ブランチも担いつつ、RSCDSが掲げる質の高いSCDを求めつつ、会員の皆さんが楽しく踊れる環境作りに取り組んでいきたいと考えています。会員の皆さんのご意見やご要望をお寄せ下さい。■

2012年度 下期のランチ・クラスとその講師など

開催月	Beginners Class 第2・4月曜日 13.30 - 16.00 500円(非会員700円) / クラス		Intermediate Class 第1月曜日 13.30 - 16.00 500円 / クラス		General Class 第1土曜日 18.20 - 20.30 500円 / クラス	
	10月	8日・22日	神倉那智子	1日	渡部多美子	6日
11月	12日・26日	5日		境 雅子	3日	佐藤仁美
12月	10日・24日	3日		三木真理	1日	林 浩子
1月	14日・28日	三木真理	7日	大西弘美	5日または12日	若松陽子
2月	11日・25日		4日	境 雅子	2日	小山かおる
3月	11日・25日		4日	篠塚昌子	2日	鳥山豊喜
担 当	寺久保ヒロ子 03-3801-6139		疋田千鶴子 047-467-1922		井口弓子 048-924-9447	



ランチの今後の主要行事予定

Social Dancing 2012 プログラムは下欄に掲載

2012年9月30日 13:30~16:30 赤羽会館 4F ホール 演奏：青山 るり さん

New Year Dance 2013

2013年1月14日(月・祝) 13:00~16:30 赤羽会館 4F ホール

演奏：大森ヒデノリさん・小海弘子さん

Weekend 2013

2013年5月31日(金)~6月2日(日) 会場：光が丘ドーム 宿泊：光が丘カデンツァ



Social Dancing 2012 のプログラム

1	EH3 7AF	J	Book 40	8	The White Cockade	R	Book 5
2	None So Pretty	R	Book 19	9	Bedrule	S	Book 33
3	Wisp of Thistle	S	Book 37	10	The Nurseryman	J	Book 37
4	Jessie's Hornpipe	R	Book 8	11	Miss Florence Adams	S	Book 38
5	Bruce's Men	S	Goldring	12	The Royal Deeside Railway	R	Book 40
6	Inverneill House	R	Book 35	13	Hooper's Jig	J	MMM
7	Inchmickery	J	Goldring	14	Miss Gibson's Strathspey	S	RSCDS-L
				15	The Deil amang the Tailors	R	Book 14



ご協力ありがとうございます

・赤羽 SCDC の皆さんに New Year Dance 会場抽選会や Social Dancing の当日運営をお手伝い頂いています。

・風見しづ江さんがゼネラルクラス会場の童夢館

予約を毎月お引受け下さっています。

・眞庭成子さんには、毎月のニュース印刷・他でお世話になっております。

会員の皆様には色々な面で協力をいただき感謝しております。 ■

運営委員会報告

7月7日

1. アンケート集計結果に基づき Weekend 2012 の総括を行った。「概ね良かった」と判断、特に開催場所のロケーションは好評。今後、ダンス会場・音響・食事に対する意見等もふまえて Weekend 2013 の細部を決定する。総会の申し送り事項を確認した。
2. Social Dancing 2012 は9月30日(日)赤羽会館で開催、プログラムを決定した。候補に挙げられたミュージシャン、MCに早急に打診する。ブランチニュース8月号に予告する。
3. NewYear Dance 2013 は1月14日(月・祝)赤羽会館で開催することを決定した。ミュージシャン候補者に打診する。プログラム及び MC の選定は次回以降に検討する。
4. Book 47用ダンス予備審査会は8月4日(土)ゼネラル・クラスを充てて行う。前委員会が依頼済み講師に改めて打診する。音楽は担当講師にCD持参を依頼する。ブランチニュース8月号に案内を掲載する。
5. ビル・クレメントさん逝去を悼みメッセージカードを用意、全委員が署名した。チェアマン弔文を添えて早急に郵送する。
6. マガジン日本語版の今後の編集について新委員会の方針を確認をした。翻訳協力者の日本語訳を尊重して編集し作成する。

8月4日

1. Weekend 2013 の方針を検討した。2014年度東京ブランチ30周年に外国人ティーチャーを招聘することを視野に入れ、2013年度は国内ティーチャーに依頼することを決めた。選定・依頼は今後の検討とする。会場は光が丘ドーム・宿泊はホテルカデンツァ光が丘とする。日程は仮予約中の5/31~6/2または6/7~6/9のどちらかを確認し本予約へ移行する。
2. Social Dancing 2012 について確認した。ミュージシャンは青山るりさん、MCは林浩子・篠塚昌子・兼松千奈美・境雅子さんに依頼済み。ブランチニュー

ース9月号にプログラムを含む案内チラシを同封する。

3. New Year Dance 2013 について検討した。ミュージシャンは小海弘子・大森ヒデノリさんに依頼済み。プログラム原案は清水委員が作成する。MC 候補を選定した。打診の上決定する。
4. 「こぼれ話」販売で発生した剰余金について協議した。2012年度総会議事録(10) 質疑応答を根拠として、返金は行わないことを結論とした。
5. 岡田昌子さんからビル・クレメントさん追悼行事を3ブランチ合同で行いたいと言う提案があり、対応を協議した。さらに検討した上で回答する。
6. 年会報・ブランチレター・マガジン日本語版・封筒全てを同一の印刷所に発注する提案がなされ、一本化することで了承された。

9月1日

1. Social Dancing 2012 について、当日の手配・役割分担等を決めた。当日配布のミニプロ・ダイアグラム・壁プロは清水委員が作成済み。赤羽SCDCに当日の応援を依頼する。
2. New Year Dance 2013 のMCは大野悦子・五十嵐成子・鳥山豊喜・小幡正明さんに依頼済み。プログラム原案は9月中旬を目途に作成、検討の上次回決定する。
3. Weekend 2013 について確認した。会場/光が丘ドーム・宿泊/カデンツァ光が丘・日程/5月31日(金)~6月2日(日)とする。国内ティーチャー3名に講師を依頼することとし、人選は次回さらに再検討する。ミュージシャンについては講師の意向を考慮して、講師決定後の選定とする。
4. ブランチクラス会場確保の状況を確認した。インターミディエイト・クラス、ビギナーズ・クラス共に10月以降は旧九段中学校を使用する予定。担当講師には新しい会場をクラス担当委員から連絡する。
5. ショップ関連。新商品案内を10月初旬発送のブランチレターNo.92に掲載する。申込み締切りは10月31日、商品発送は11月末の予定とする。ただし Diamond

Jubilee Dance Collection については 1000 部限定出版のため、50 部を先行注文する。

6. ビギナーズ・クラスの広報について協議した。神倉那智子さんから提案のあった FD サークルへのチラシ配布に向けて用意した案内を検討・修正した。神倉さんの了承が得られれば 100 部程度の配布を依頼する。

7. ビル・クレメントさん追悼行事に関する岡田昌子さんからの提案に対し、ブランチ行事としては対応出来ない旨回答したことが報告された。埼玉ブランチ・東海ブランチ共に同じ対応。

8. Scroll of Honour 2013 について本部からの推薦依頼を検討した。2013 年 3 月締切り迄に考慮する。■

Weekend 2012 アンケート集計結果

参加者 92 名 回答者 66 名 (記名 6 名) 回収率 72%

凡例 よい: 20 普通: 20 良くない: 20

0% 50% 100%

アンケート項目	0%	50%	100%
1 マービンのクラス全般	91		9
2 マービンの指導	94		6
3 マービンのクラスの音楽	87		11 2
4 Social Dancing (MC、構成など)	61	37	2
5 Social Dancing の音楽	85		15
6 Ceilidh Dancing (MC、構成など)	42	51	7
7 Ceilidh Dancing の音楽	76		24
8 ウォークスルー教室 (指導など)	38	53	9
9 自由参加クラス (指導、音楽)	40	49	11
10 全体の時間配分	43	40	17
11 宿泊施設	83		17
12 ホテル提供の食事	40	54	6
13 開催時期	66	32	2
14 開催場所	69	23	8
15 総会との同時開催	55	19	26
16 参加者はフレンドリーでしたか?	66	32	2
17 あなた自身はフレンドリーだった?	65	33	2
18 総体的なご感想	73	24	3

上記各項目についての主なコメント

1. デモが分かり易かった/人数的に目が行届いて良かった
2. 分かり易くて良かった/基本をしっかり確認出

来た/ステップ練習が多くて良かった/初心に帰れた/丁寧で良かった/本場の最高レベルの指導に満足/ダンスのポイントが良く指導された/英語の slowly & clear の配慮が良い/

- とても勉強になった
3. とても素晴らしかった/音楽機材の向上を
 4. 余り踊られていない曲が多く面白かった/交流が出来て良かった
 5. なし
 6. 楽しかった/ダンスだけで寂しかった/飲食の時間が長過ぎた/もっとケイリーダンスに絞っても良いのでは
 7. なし
 8. 不要
 9. 不要/マービンのクラスの経験(デモ)が生かされていない/指導の工夫を/MCの上手下手が目立った
 10. 総会終了後すぐに自由参加クラスを開始すべき/受付時間が長過ぎた/自由時間が多いのが良かった/無駄な時間が多かった
 11. とても良かった
 12. 朝食メニューが少なかった/夕食は盛り上りなく味気なかった
 13. もう少し涼しい時期に/もう少し早い時期に/3~4月を希望
 14. 交通の便が良かった/都内開催が良かった/ホテル送迎バスが良かった/全般的に良かった
 15. 切り離して欲しい/合宿参加者以外の総会出席を考慮すべき
 16. なし

17. なし
18. 次回も参加したい/沢山の人と交流出来て満足/気持ち良くダンスを楽しめた/無駄な時間が多い

その他の主なご意見・ご感想

- ◆ 開催期間： 2泊3日がベスト/1泊2日が良い/1泊で十分な内容/年齢的に2泊3日がきつく感じる
- ◆ 開催施設：床が固い/空調が不十分/ソーシャルには雰囲気合わない
- ◆ 音楽全般：フィドルが強過ぎた/ピアノは勿論フィドルが素晴らしかった
- ◆ 音声：音響・マイクが良くない
- ◆ 自由食：高くても3食付にして欲しい/自由食の時間を長く/自由食も思った程悪くなかった
- ◆ 総会内容：予算のマイナス計上は疑問/ショップ余剰金多過ぎるのでは
- ◆ 通訳：ポイントを的確に通訳して欲しい/声が小さく聞き取りにくかった
- ◆ 役員に対して：現役員への感謝/MC・通訳への感謝/新役員への期待
- ◆ ・ブランチクラス：連携を取って1年の流れを作って欲しい(スキルアップのため) ■

マービン・ショート氏のクラス模様



マービン・ショート氏のクラス模様



ジョンさんとマービンさん



Mervyn 講習曲 (Weekend 2012)

1. Scarborough Castle (S-3C Ann Dix)
2. The Bramble Bush (J-3C Book 25)
3. Forth O' Clyde (S-3C-set Anna Holden)
4. The Button Boy (R-3C Bill Zobel)
5. Immigrant Lass (J-3C Book 39)
6. The Spirit of the dance (S-3C Lawrie Bowlen)
7. Mrs Muriel More (R-3C John A Johnston)
8. Sydney's Reel (J-3C-set Mervyn Short) ■

新 CD ・ Book 紹介

Tom Toriyama

(1) Just As It Was – 1 by Alasdair Fraser and Muriel Johnstone (SSCD26)

March and Waltz, Scotch Circle, Hooper's Jig, The Laird of Atherton, The Flowers of Edinburgh, The Hollin Buss, Miss Milligan's Strathspey, Cadgers in the Canongate, Jubilee Jig, MacDonald of the Isles, MacDonald of the Isles encore, Lady Susan Stewart's Reel, Waltzes

(2) Just As It Was – 2 by Alasdair Fraser and Muriel Johnstone (SSCD27)

Ye're Welcome Charly Stuart, Balquidder Strathspey, The Nurseryman, Peat Fire Flame, The Birks of Invermay, Fair Jenny's Jig, The Robertson Rant, Wicked Willy, The Duke of Atholl's Reel, Dalkeith's Strathspey, Sleepy Maggie, Niel Gow's Lament for the Death of His Second Wife

(3) Just As It Was – 3 by Alasdair Fraser and Muriel Johnstone (SSCD28)

The Machine without Horses, Sugar Candie, McLaughlin's Reel, The Luckenbooth Brooch, Monymusk, The Montgomeries' Rant, Bonnie Anne, The Braes of Breadalbane, J. B. Milne, The Last of the Lairds, Neidpath Castle, General Stuart's Reel, Waltz and Auld Lang Syne

昨年サンプル CD が出て、正規発売が待たれてい
た 3 枚構成の CD である (分買、セット買いのい

ずれも可)。1989 年から 2003 年におけるアレスタ
ー・フレイザーとミュリアル・ジョンストンのデ

ユオによるスコットランド、米国の各地における実況録音盤であるが、場所と日時の記載はない。アレスター (Alastair, Alasdair もカタカナ表記はみなアレスター、ときいたことがある) はリスニング用に数多くの CD を出している米国在住のケルティック・フィドルの名手である。名手であるだけに、フェイク (メロディをくずす) やシンコペーションを必要とせず、反面一定のテンポでの演奏が要求される SCD 音楽は自己表現に向いていないとの理由であろうか、ダンシング用の CD は 1 枚もなかった (全需要が数百枚程度では CD 制作に値しないのかも)。そのアレスターも、ときおりのボール、ダンス会ではミュリアルと共演を行っていたことが、これらの CD でうかがい知ることができる。ミュリアルとのフィドル共演者といえばキース・スミスであるけれども、Hooper's Jig、The Machine without Horses、The Braes of Breadalbane でアレスターとキースのスタイルを比べることができる。アレスターは技巧を駆使してシャープ、キースはダンサーとダンシングのツボを心得た演奏である。アレスターの特長はリー

ルにみられ、重音 (ダブル・ストップ。弦楽器で同時に 2 つ以上の音を出す) を多用した Cadgers in the Canongate、Sleepy Maggie、The Montgomeries' Rant、には感心する。ミュリアルのピアノはアレスターとダンサーをしっかりと支え、正確なリズムを送り出している。オリジナル曲につづく代替曲はほとんどトラディショナルで、キースとの演奏時によく使われるミュリアル自身の曲はまったく入っていない。トラディショナルの多用は著作権使用手続きの煩雑さから逃れるための一方法かもしれない。

ジャケットのダンス名表記に中世風の飾り字体を使っており、T なのか C なのか、ギリシャ文字 δ なのかアルファベット d なのか、日本人には判読がむずかしい。平易な字体でダンス名を表記してほしいところだ。ケースは紙製である。SCD のスタンダード・ナンバー集といってよいダンスを収録しており、買って損はない。【注文略号：ミュリアル CD (1)、ミュリアル CD (2)、ミュリアル CD (3) およびミュリアル 3 種セット】

(4) A Collection of Dances to Celebrate The Diamond Jubilee of Her Majesty Queen Elizabeth II

The Royal Patron (R32-3C), The Castle of Mey (R32-3C), Mist o'er the Loch (S32-3C), Rodney's Rant (J32-3C), Orwell Lodge Strathspey (S32-3S), Burnaby at Forty (S40-SQ)

RSCDS は女王陛下の即位 60 年を祝って 6 ダンスからなるこの本を出版した。1000 部の限定出版で一連番号が印刷されており、わたしの本は 302 である。本部会員数から考えて、1000 部刷れば 10 年間は需要にこたえられるともくろみであろうか。即位 60 年祝賀本といってもこれに関係するダンスは冒頭の 2 つで、のこりは本にするために付け加えられたダンスである。The Royal Patron と Burnaby at Forty におもしろい動きが見られるけれども、全般的に 6 ダンスともいわば習作である。しかし最近のダンスは奇をてらったものが多く、これらのダンスのほうが平

易でだれにも親しまれるかもしれない。

The Royal Patron の bars 17 - 20 と 25 - 28 の half reel of four across において、1C は gypsy turn のように once round するかたちで (left shoulder で pass しない) つづく left hand turning に移る。Mist o'er the Loch はどこのなんという湖かと作者マービン・ショートにたずねたが、「特定の湖ではない。名前をつけるときにタイトルがふっと浮かんだんだ」とのこと。楽譜つきであるが、付随する CD の発売はおそらく 2013 年になるだろう。【注文略号：ダイヤモンド・ジュビリー】

(5) Magazine Dances 2005 - 2009 Combined Edition

(6) Magazine Dances 2005 - 2009 Combined CD

2005年から2009年までRSCDSは従来のBook形式の新ダンス出版を中止し、マガジンの付録として毎年3ないし5ダンスをパンフレットのかたちで発行した。この方式は全世界で不評を買い、Book 46で元のやりかたに戻るようになった。不評の一因は踊りたいのに録音音楽の出版は1年あるいは3年後、さらにぺらぺらのパンフレットは散逸しがち、というものであった。かく申すわたしもSueno's Stoneのパンフレットを家探しして見つけ出しているありさまである。

録音音楽もEileen Watt's ReelはBook 9 CD、The Inimitable DerekはBook 34 CDに入っているというぐあい、クラスで使うときどのCDをもって行けばよいか、いちいちCDジャケットを確認して取りそろえなければならない。

このような不便を解消してくれるのが今回出版されたマガジン・ダンスの合本とまとめCDである。合本とまとめCDは2005-2009年の全17のマガジン・ダンスを収録しており、この1冊・1枚があればこと足りることになった。合本は用語を標準用語集に合わせ、さらにパンフレット出版時のミスを修正してある。まとめCDは出版時の録音をそのまま発表順にまとめたもので、ミュージシャンの変更はない。〔注文略号：マガジン・ダンス合本およびマガジン・ダンスまとめCD〕

* * *

以上の品物のご注文は注文略号、数量、金額を明記のうえ、郵便振替 00240-0-63517 東京ブランチでお申し込みください(送料込み)。

ミュージアル CD (1)	¥2,200
ミュージアル CD (2)	¥2,200
ミュージアル CD (3)	¥2,200
ミュージアル 3種セット	¥5,000
ダイヤモンド・ジュビリー	¥1,400
マガジン・ダンス合本	¥1,500
マガジン・ダンスまとめ CD	¥2,000

ショップ担当 松木道子 042-475-9054

michikom-bfd@jcom.home.ne.jp

締切り：2012年10月27日(土)

お渡し予定：12月中旬



私にとっての SCD ダイアグラムズと その入手方法 清水 豊

スコテッシュ・カントリー・ダンス・ダイアグラムズはダンスの概要を英文字や図形を使って表現したもので多くのダンサーが利用している。グリーン・ブックの愛称で親しまれている Scottish Country Dances in Diagrams (F.L. Pilling 著)をお持ちの会員も多いと思う。グリーン・ブックは第8版とその追録版が最新版である。

ダイアグラムは対象ダンスを素早く思い出す手がかりとして私にとっては欠かせないアイテムである。特にパーティーで踊るときは非力な英語力に加え、難聴気味の私にとってはリカップを補う重要な資料となっている。

グリーン・ブックはスポーランに収まる小さなサイズだが、本編と追録を併せると約250ページになり重い。そこで該当ダンス頁をコピーし、切り貼りを行ってきたが、これが大変なので、現在はグリーン・ブックをスキャナーでパソコンに取り込み電子切り貼りを行って手間を軽くしている。

グリーン・ブックの改版間隔が5~6年と長く次期改版までに創られたダンスや、掲載されていないダンスのダイアグラムは自分で作図するしかなかった。

しかし、最近になって多くのダンサーの利用を前提として開設されたホームページ "SCD Database <http://my.strathspey.org/dd/index/>" から最近創られたダンスのダイアグラムやクリブ(Crib:簡易ダンスメモ)を簡単にダウンロードして利用できるようになり作図の手間がだいぶ減った。それでも全てのダンスについてあるわけではないことを知っておく必要がある。なお、このホームページのデータベースには2012年9月3日現在14,420のSCDが登録されている。

このホームページのダイアグラムズはインターネットに

接続できる一般的なパソコンを持っている方なら容易に利用できる。ダイアグラムズのダウンロードに当たって特別な操作は必要ないが、初めて利用する方のために基本的な手順を説明する。

次の7手順をふむが1ダンス当たり5分はかからない。慣れると素早くできる。

- ① SCD Database ホームページを表示→[SCD Database]で検索するかアドレスを入力する。
- ② 目的ダンスを検索→トップページの Quick Search ボックスにダンス名を入力して検索する（又は Navigation ボックス内の Dances をクリックする。ダンスが abc.....順に表示されるから該当ダンスを選択する）

SCD Database Sign • Create Account

Welcome to the Scottish Country Dance Database!

Overview
This database aims to be a comprehensive resource for Scottish country dancers, dance teachers, and musicians. It brings together information on Scottish country dances, formations, musical recordings, Scottish country dance tunes, and the people behind all of those – all conveniently linked together for easy perusal.
The database builds on the efforts of many people. Keith Napier and Peter Hastings pioneered the idea of indexing Scottish country dances and music. Alan Paterson started the project behind this database, compiling a very large repository of data and making it available to everybody. Eric Ferguson and Charles Upton, among others, have contributed cribs for dances. This web-based software is by Anselm Lingnau. Countless volunteers have helped organise, improve, and correct the data – an ongoing effort.

What you can do
Feel free to browse the database and use the information in it to improve your and others' enjoyment of Scottish country dancing! In spite of tireless efforts to the contrary, the database probably contains lots of errors and omissions. If you notice anything that is wrong or looks fishy, please notify the maintenance team – most conveniently through the »Submit a comment« link that is part of every data page. Also, please [get in touch](#) if you have a resource that is not in the database at all and that you think ought to be added.
We're always on the lookout for more volunteers to help with improving the database. If you are interested in SCD and have a little time to spare, why not dive in? See [here](#) for further information.
If you would like to use the data in this database for other projects, you can download [daily dumps](#) of the database content (or most of it, anyway) to use under a »Creative Commons« license.

Quick Search
Best Set in the Hall
Search
[Complex dance search](#)
[Complex recording search](#)

Navigation
[Dances](#) • [Formations](#) • [People](#) • [Publications](#) • [Albums](#) • [Recordings](#) • [Tunes](#) • [Dance Lists](#) • [Videos](#) • [Rating](#)
[Database News](#) • [Volunteering](#)

Recent Comments
(Unimplemented)

Recent Cribs

- The Robson Strathspey from SCDDDB Contributed Cribs & Diagrams
- The March Hare from SCDDDB

Recent Lists

- Oldenburg 2012-0903 by Martin McWilliam (Sept. 5, 2012, 1:37 p.m.)
- Cologne 2012 by Sir Toby (Sept. 4,

Recent Videos

- Jean Martin of Aberdeen (S32, Johnstone: 3 Dances 2006) by Anselm Lingnau
- Jean Martin of Aberdeen (S32, Johnstone:

- ③ [Crib/Diagrams]タグを選択→目的のダンス名が表示されたら、それをクリックすると複数のタグが表示されるので[Crib/Diagrams]を選択する。

- ④ ダイアグラムを確認→Eric Ferguson's Cribと Keith Rose's Diagramsが表示される（登録がなければ表示されない）

SCD Database Sign • Create Account

Dance Best Set in the Hall

Overview Recordings **Crib/Diagrams** Videos Lists User Feedback

Eric Ferguson's SCD Cribs [Comment on this crib](#)

1- 1c set | 1W (1M follows) casts off 2, crosses, W dances up behind M line, and M dances up the middle, 1c face 1cnr (2c up)

9- 1c set to 1cnr | 1c cast Rsh round each other to 3cnr position while 1cnrs dance into centre, and swivel R to face own cnr ; repeat, 1cnrs finishing in exchanged places, and 1c facing 2cnr

17- Repeat with 2cnrs (3x,1x,2x)

25- All chase clw ½ round ; all turn RH. (2,1,3)

To: Auckland Region President, Campbell MacKay, nov. 2003
Crib was verified by another person - Source: [Eric T. Ferguson](#)

Keith Rose's Diagrams

BEST SET IN THE HALL **8x32 J**

Helen Greenwood, BSCDS Bk 46
Download: SVG • PDF • PNG Diagrams was checked by its author • Source Keith Rose (Keith Rose)

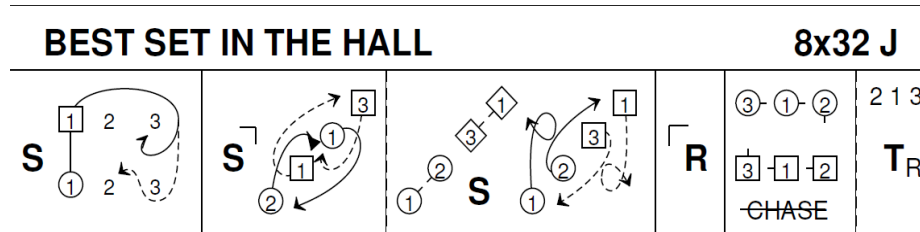
Quick Search
Search
[Complex dance search](#)
[Complex recording search](#)

Navigation
[Dances](#) • [Formations](#) • [People](#) • [Publications](#) • [Albums](#) • [Recordings](#) • [Tunes](#) • [Dance Lists](#) • [Videos](#) • [Rating](#)
[Database News](#) • [Volunteering](#)

⑤ ダイアグラムズをダウンロード→画面下部の
Download: [SVG](#)・[PDF](#)・[PNG](#) から必要なフ
ァイル形式をクリックしてダウンロードする。
私の場合は [PDF](#)。スマートフォンで利用す
るなら [SVG](#) を選ぶ。

⑥ ダイアグラムズを保存→画面にダイアグラム
が表示されるから、自分のパソコンへ保存す
る（又は、部分選択ツール（PDF の場合はス
ナップショットツール）で必要な部分を選択
して、自分のファイルへ貼り付ける）。

ダウンロードしたダイアグラムズ

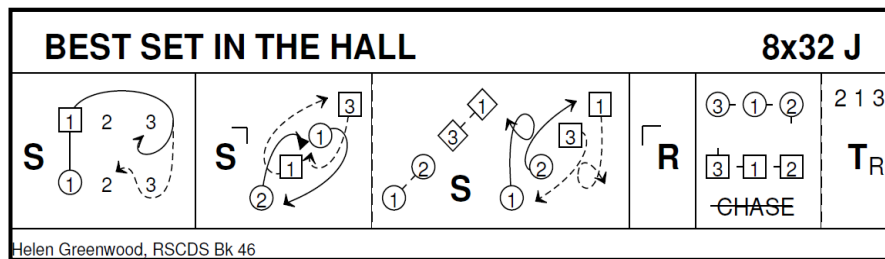


Helen Greenwood, RSCDS Bk 46

⑦ ダイアグラムズを加工→ダウンロードしたダ
イアグラムズをパワーポイントやワードのフ

ァイルに貼り付け、トリミング/サイズ調整
/枠線付与を行い、体裁を整える。

枠線を付けたダイアグラムズ（完成）



Helen Greenwood, RSCDS Bk 46

以上で作業は終了である。

ダンス順序を手短かに思い出すには「動画でダンス1
フレームを観る」のが一番良いと私は思っている。ダンサ
ーの殆どがスマートフォンを所有するようになれば
YouTube などからダウンロードした動画の1フレームを観

てダンスを素早く思い出しダンスを楽しむようになるだろ
う。そうなればダイアグラムズの価値も下がるに違いない。
それまではダイアグラムズを収集し、ないものは作図して
パーティーに備え、当日はたくさんのダンサーとの社交
を楽しみたいと考えて活動を続けている。■

海外情報

RSCDS AGM/カンファレンス・ウィークエンド 2012

日時 2012.11.2~11.4

場所 ビーチ・ボールルーム、アバデー

詳細 <http://www.rscds.org>

RSCDS ウインター・スクール 2013

日時 2013.2.24~3.1

場所 アーソル・パレス・ホテル、ピットロホリ

詳細 <http://www.rscds.org>

ニュージーランド・ブランチ サマースクール

日時 2012.12.28~2013.1.5

場所 ザ・ガーディン・シティ

詳細 <http://www.rscdsnz.org.nz>

RSCDS 年会報および会計報告(2012年3月まで)他

詳細:

<http://www.rscds.org/membership/branch-malining.html>

年会報の訂正について

7月に発行したRSCDS東京ブランチ年会報No.29
の資格所有者欄(22頁)に柏崎廣子様のお名前が
漏れておりました。心よりお詫び申し上げます。 ■